

# 京都大学

# 教育学部紀要

XXXIV

- パーソナリティ理解の方法としてのスイッチ機構  
同一化と人格発達
- ケルシェンシュタイナー教育学の基底としての前半生(I)  
2年制カレッジにおける学生層の変容と意識の変化  
文明開化期における発達の概念の導入について  
— Hepburn, J. C. と中村正直の場合 —
- 教育改革の方向と内容について  
— 日本とアメリカの場合 —
- 教育令期(1879~1885)における授業改良と試験法  
アイコニックメモリーと意味的处理  
— postcategorical model について —
- セルフと記憶  
— Self-reference 効果を中心に —
- 投影法としての昔話の記憶再生法  
青年期の自我発達と自我体験について  
少年期の対人関係の問題について  
— 特に「いじめ」との関連から —
- スクール・サーティフィケートにおける中等教育「修了」の意味  
— スクール・サーティフィケート成立時まで限定して —
- ロシアの新教育における自由の問題  
— カ・エヌ・ヴェンツェリの「自由教育」論の場合 —
- 戦前京都における障害児調査と障害児保護・教育事業  
教具による数学言語の理解について

# 京都大学教育学部紀要 XXXIV

## 目 次

### 論 文：

パーソナリティ理解の方法としてのスイッチ機構……………	坂 野 登	1
同一化と人格発達……………	齋 藤 久 美 子	14
ケルシェンシュタイナー教育学の基底としての前半生(I)……	山 崎 高 哉	27
2年制カレッジにおける学生層の変容と意識の変化……………	江 原 武 一 君 島 茂	68
文明開化期における発達の概念の導入について……………	田 中 昌 人	93
—Hepburn, J.C. と中村正直の場合—		
教育改革の方向と内容について……………	稲 葉 宏 雄	127
—日本とアメリカの場合—		
教育令期(1879～1885)における授業改良と試験法……………	天 野 正 輝	153
アイコニックメモリーと意味的処理……………	井 上 毅	175
—postcategorical model について—		
セルフと記憶……………	遠 藤 由 美	187
—Self-reference 効果を中心に—		
投影法としての昔話の記憶再生法……………	杉 岡 津 岐 子	200
青年期の自我発達と自我体験について……………	高 石 恭 子	210
少年期の対人関係の問題について……………	高 石 浩 一	221
—特に「いじめ」との関連から—		
スクール・サーティフィケートにおける 中等教育「修了」の意味……………	山 村 滋	231
—スクール・サーティフィケート成立時まで限定して—		
ロシアの新教育における自由の問題……………	橋 本 伸 也	243
—カ・エヌ・ヴェンツェリの「自由教育」論の場合—		
戦前京都における障害児調査と障害児保護・教育事業……………	玉 村 公 二 彦	254
教具による数学言語の理解について……………	野 中 佳 代	266

昭和 62 年度 修士 論文

氏 名	論 文 題 目
長谷川 精 一	『森有礼の国家論について』
松 永 公 代	発達年齢 5 歳前後における通常児と発達障害がある場合の比較検討 —書きことば獲得の始まりにおける発達の前提を中心として—
宍 平 琪	上海師範大学学生の教職意識 —京都教育大学との比較において—
西 村 拓 生	H. リードにおける“aesthetic”概念と「芸術による教育」
青 木 真 理	昔話の結末にみる心性 —日米比較の試み—
石 王 敦 子	モダリティ間のストループ干渉とその処理過程 —線画—単語課題を用いて—
菊 江 賢 治	算数文章題の問題解決 —問題が作れば問題は解けるのか—
平 井 正 三	認知的側面からみた青年期の自我同一性 —Kelly. G.A. の Rep Test を用いて—
李 敏 子	他者へのメッセージとしての自己破壊
角 田 豊	共感性の測定方法の検討とその発生過程について
森 岡 理恵子	Squiggle Game において生じる治療的場所

昭和 62 年度 卒業論文

氏 名	論 文 題 目
加藤 和香	6～10カ月児における対比的な対象認知の成立
金光 靖樹	M. L. ドパートによる文化伝達のシステムモデルについての考察 —教育人類学における一般理論体系構築への試論—
杉浦 功	下中弥三郎の教育思想 —労働運動と農民運動への関わりを通して—
長谷川 豊	暁荘実験学校期における陶行知の「生活教育」論に関する一考察
福田 真人	学童期・思春期における「自己」の発達過程について
横山 八千代	教員研修の現状と問題点 —日米比較の視点から—
萩原 光介	方法としての構造「障害者」教育史研究の課題と問題提起（「障害者」教育史の序論に代えて）
青木 史郎	準拠集団からみた独自性理論
浅井 美穂	転校生の心理学的特徴について —SCTを用いて—
飯田 実千代	食卓状況
稲田 睦	問題解決課題における「難しさ」の違いについて —嫉妬深い夫と、その類似問題との比較より—
稲吉 雅弘	大学生の Self-esteem と自我同一性
井上 高明	社会的比較における類似性
大倉 寿之	図式的投影法による対人不安心性の理解
岡 聖子	青年男子の性役割観と、両親像及び女性像について ～質問紙とTATを用いて～
小野 久里子	幼児期の「みたて（事物の象徴的利用）」の発達
小西 一正	Jung のタイプ論と欲求不満反応との関係について —JTS と P-F スタディを用いて—
小林 真理子	大学生における依存性のあり方と両親の養育態度
斉藤 敏恵	対人魅力の規定因 —性役割観からのアプローチ—
鹿鍋 志保	取り引きにおける競争心理の研究
寺川 悦子	self-efficacy と課題の選択が内的動機づけに及ぼす影響について
友田 英子	幼児期における他者感情の推測能力の発達について
中川 純子	青年期の孤独感と自己像 —孤独感尺度（LSO）とSD法を用いて—
能勢 靖子	大学生の性役割観
原地 貴子	寝たきり老人の内的世界へのアプローチ —臨床心理学的方法を用いて—
真砂 智子	音声による情報の処理 —左・右の差に注目して—
升田 陽子	Mental Rotation と絵の理解

吉岡恒生	Ambiguity Tolerance の程度と人格の諸側面について —MAT-50 とロールシャッハ・テストを使って—
谷ひとみ	母音の順序が無意味語の印象に及ぼす影響
田丸智子	Self-Esteem についての研究 —欲求不満場面における反応様式より—
畠中美佐江	記憶・連想とパーソナリティ —言語連想検査を用いて—
石谷真一	男子大学生の自我の確立と親密性 —同一性地位判定尺度とTATを用いて—
伊藤俊樹	創造性開発法 (Creativity Mobilization Technique) がパーソナリティに及ぼす影響 について—ロールシャッハテストの反応変化より
乾英信	仮名と漢字の処理過程の差異について —一文の音読潜時と手がかり再生課題による検討—
犬飼芳樹	意識の発達から見た人間の諸活動
西川琢自	認知閾下刺激の効果について —線画命名課題に対する意味プライミング効果を中心に—
西島一博	達成動機と問題解決
原田奈青里	動的家族画を通してみた Anorexia nervosa 患者の家庭内力動について —高校生女子との比較において—
平野浩将	人物画にあらわれた対人不安心性
宮元博章	個人空間の方向性について —課題遂行時における他者の位置の影響—
小宮敏明	James Hillman の元型心理学について
中原浩	対人相互作用と疎外感の関係についての考察
岩崎治郎	米国ビジネス・スクールの機能 —「制度化された神話」としてのMBA—
岩崎隆	障害児教育の公的保障 —就学指導に関する一考察—
臼井知美	都市化社会における地域と教育
北野博之	教員の専門職性と職務命令 —「職務命令体制」への批判論として—
田中小百合	教育機会の平等
藤井哲夫	言語と社会化 —バジール・バーンステインの言語社会化論を中心に—
山口康治	日本人のレジャーについて
高村和法	余暇論にみる消費社会 近代社会と現代社会の余暇・主体・権力
薬師院仁志	社会場と教育システム
岡本幸次	大学財政における国立学校特別会計制度の意義
石原伸浩	健康を保障する教育の条件整備の方向 —学校保健の仕事と問題点の検討を手がかりとして—

---

<b>編集委員</b>	本 山 幸 彦	稲 葉 宏 雄	齋 藤 久 美 子
	上 杉 孝 實	高 木 英 明	
<b>編 集 員</b>	宮 嶋 秀 光	鋒 山 泰 弘	高 橋 雅 廷
	山 下 一 夫	森 繁 男	石 村 雅 雄

---

---

昭和63年3月25日 印刷

昭和63年3月31日 発行

発行人 京 都 大 学 教 育 学 部  
代表者 松 村 一 範

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所  
京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 京 都 大 学 教 育 学 部  
京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町

---

# Kyoto University Research Studies in Education

XXXIV

---

## Contents

- Switching Mechanisms as a Key to the Understanding of Personality . . . . . SAKANO Noboru  
Identification and Personality Development . . . . . SAITO Kumiko  
Georg Kerschensteiner  
—Die erste Hälfte seines Lebens als Grundlagen für seine Pädagogik (I)—  
. . . . . YAMAZAKI Takaya  
Changing Characteristics of Two-year College Students 1975–1984 . . . . . EHARA Takekazu  
. . . . . KIMISHIMA Shigeru  
On the Concept of the “Development” in the Bunmei-Kaika Era . . . . . TANAKA Masato  
On the Direction and the Content of Educational Reform in Our Time  
—Japan and America— . . . . . INABA Hiroo  
The Reform of Instruction and Examination-rule under the Education  
Act (1879–1885) . . . . . AMANO Masateru  
Iconic Memory and Semantic Processing: A Review of Postcategorical Model  
. . . . . INOUE Takeshi  
Self and Memory  
—Some Issues of the Self-reference Effect— . . . . . ENDO Yumi  
Fairy Tale Memory Recall as Projective Method . . . . . SUGIOKA Tsukiko  
Ego-development in Adolescence and Ego-experience . . . . . TAKAISHI Kyoko  
On the Problem of Interpersonal Relation in the Childhood  
—From the Viewpoint of “Ijime”— . . . . . TAKAISHI Koichi  
A Study of the School Certificate Examination System . . . . . YAMAMURA Shigeru  
Новое Воспитание в России и Вопросы Свободы  
—Через Теорию «Свободного Воспитания» К. Н. Вентцеля—  
. . . . . HASHIMOTO Nobuya  
On the Historical Development of the Survey and Care for the Handicapped in  
Prewar Kyoto . . . . . TAMAMURA Kunihiko  
On the Understanding of Mathematical Language through the Use of Instructional Aids  
. . . . . NONAKA Kayo

---

The Faculty of Education

Kyoto University

March, 1988